

子宮頸部前がん病変（CIN）治療薬に関する開発権等の権利取得のお知らせ

GLOVACC 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：瀬脇智満）は、森下仁丹株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：森下雄司）が保有する経口投与型子宮頸部前がん病変（CIN）治療薬^{*1}の独占的開発・製造・販売に関する権利のライセンス等について、両社間で合意致しましたのでお知らせします。

本件は、森下仁丹株式会社による事業化への取り組みの一部を当社が継承し、当該医薬品候補物質の臨床開発を加速させていくものです。

CIN 治療薬は、経口投与により子宮頸部前がん病変の改善に資する抗原タンパク質特異的免疫等を誘導することにより、子宮頸部前がん病変の退縮または消失が期待される革新的かつ社会的ニーズの高い医薬品候補物質であると当社は考えています。

日本大学医学部産婦人科学系産婦人科学分野 川名 敬主任教授らのグループによる医師主導治験^{*}の開始を目指しています。

以上

*1 CIN 治療薬は、子宮頸がんの原因ウイルスであるヒトパピローマウイルス（HPV）由来のがん抗原タンパク質に対する特異的免疫等を子宮頸部粘膜に誘導する医薬品候補物質です。HPV 由来のがん抗原タンパク質特異的な免疫が誘導されることにより、子宮頸部の前がん病変の退縮、消失が期待されます。

*2 医師主導治験の実施に向けた取り組みについては、川名 敬主任教授が獲得した「革新がん医療実用化研究事業（個人の発がんリスクや特性に応じたリスク低減手法の開発に関する研究）」の研究費が使用されています。